



ネコに、なぜひげがついているの

ひげは、さわってわかるアンテナ

ネコだけではなく、キツネやイヌなど、たいいていのほ^{にゅうどうぶつ} 乳動物の顔には、^{かお} 顔には、^{しょくもう} 触毛とよばれるひげがあります。^{しょくもう} 触毛とは、^け 毛の先にさわった物を、^{もの} 感じとる毛という意味です。

ネコが、せまいすき^ま間に、にげこんだネズミなどを^お追いかけるとき、ネコのひげがさわった^{かん} 感じで、^{じぶん} 自分の^{からだ} 体が^{とお}通れるすき^ま間かどうかとか、^{なに} 何かつき出た^で 物があるから、よけないとぶつかる、などのことがわかります。ネコの口の^{くち} 周りや、目の^{まわ} 周りから^{なが} 長くのびたひげは、ひげの^{さき} 先をぐるっと^{せん} 線で^{むす} 結んでみると、たいいてい、ちょうど、そのネコの^{からだ} 体が^{とお} 通れる^{おお} 大きな^{えん} 円になります。

とくに、びん感^{かん}な^{くち}口の^{まわ}周りのひげ

ネコの口の^{くち} 周りのひげは、^{とくべつ} 特別、^{かん} びん感です。よく^{かんさつ} 観察すると、ひげは^{すいへい} 水平に^{れつ} 4列に^{なら} 並んで^は 生えていて、^{うへ} 上の2列と、^{した} 下の2列は、それぞれ^{べつべつ} 別々に^{うご} 動かすことができます。ひげの^{ねもと} 根元は、^け ふつうの毛の^{ばい} 3倍も^{ふか} 深いところにあり、その^{ねもと} 根元の^{まわ} 周りには、^{しんけい} たくさんの^{あつ} 神経が集まっています。だから、ネコのひげを^き 切ったりすると、ネコは^{いたが} いたがります。それに、さわってわかるアンテナが^{なくな} なくなりますから、^{うご} おくびょうになったり、^{うご} 動きがにぶくなります。いたずらで、ひげを^き 切るのはやめましょう。(監修・今泉 忠明)

